

主題A 人生とキャリア

大学時代をいかに過ごすか (第4回)

2018年5月8日

山本 珠美(地域連携・生涯学習センター)

以下を準備の上、
本日のグループに着席のこと！

- ①宿題(A4ボード4枚以上)
- ②『香川大学の歴史』(A4ホチキス止め)
←前週配布
- ③筆記用具
- ④バインダー

配布物一覧

<次回までの宿題用>

- ①5月15日、22日のグループワークについて(A4両面)
- ②宿題用紙(A4両面)
- ③『大人になるためのリベラルアーツ』(A4ホチキス止め)

<本日のグループワーク用>

- ④10分で学ぶ「大学の歴史」概略版(A4両面)
- ⑤【発表者のみ】他者評価シート(A4片面)
- ⑥【発表者のみ】自己評価シート(A4両面)
- ⑦【司会・コメンテーター】メモ用紙(A4両面)

本日の内容

1. 次週、次々週のグループワークについて
2. 10分で学ぶ「大学の歴史」(欧米から日本へ)
3. グループワーク(第3回目)
～香川大学の歴史～

大学の定義[3本柱]

1. 教育

…職業人になるために

2. 研究

…学問の発展のために

3. 社会貢献

…社会の構成員として、
より良い社会のために

10分で学ぶ「大学の歴史」

①大学はいつどこで生まれた？

→11世紀末 イタリア(ボローニャ大学)

②なぜ「大学」が誕生したのか？

→紀元前ヨーロッパで学問が花開く。

ヨーロッパ衰退後、学問はイスラム世界へ。

中世にイスラム世界との交流が進む中、
イスラム世界の「先進学問」を逆輸入。

③「大学」のもともとの意味は？

→学生・教師の団体。

11世紀～19世紀初期の大学の形

Liberal Arts



神学部・医学部・法学部



欧米における大学の歴史

【中世】

アラビアの先進学問を学ぶ教育機関として設立
Liberal Arts＋神・法・医の専門科目

【近世】

「大学の死」・・・科学・技術を無視、旧態依然

【近代】

ナポレオン戦争後、ドイツの大学改革(＋研究)
ドイツに学んだアメリカの大学改革
(研究強化のため大学院設立＋社会貢献)

ドイツの大学における「実験」の開始



ギーゼン大学 (1880年)

ギーゼン大学



リービッヒの実験室

日本における大学の歴史

幕末、留学生たちが海外の「大学」制度と出会う
Cf.映画『長州ファイブ』

明治維新後、欧米の先進学問(特に科学技術)
を学ぶため設立

→明治10(1877)年 工部大学校・東京大学

→明治19(1886)年 (東京)帝国大学

各地の帝国大学の学部構成(終戦時)

東京帝国大学(M19)	理・一工・二工・医・農・法・文・経
京都帝国大学(M30)	理・工・医・農・法・文・経
東北帝国大学(M40)	理・工・医・法文
九州帝国大学(M44)	理・工・医・農・法文
北海道帝国大学(T7)	理・工・医・農
大阪帝国大学(S6)	理・工・医
名古屋帝国大学(S14)	理・工・医

※京城帝国大学(T13) 理工・医・法文

※台北帝国大学(S3) 理・工・医・農・文政

文系人材は？ ➡ 私立大学(早稲田大学、慶応大学、etc.)

地方国立大学は？

・師範学校(小学校教員)

+

・実業学校(産業振興)

+

・大学ではない高等教育機関
(高等○○学校)

戦後
大学へ昇格

ルール説明・・・三猿禁止！

前回の
調子で
！

アイコンタクト



前回より難しいと思うが、積極的に質問を！
自己評価シートの裏面を活用しよう。

自己紹介タイム

進め方

第一発表者、プレゼン(計4分)



質疑応答・感想(2分間、司会が仕切る)



【第一発表者以外の人】他者評価シートに採点を記入(1分間)



(第二～第五発表者、同様に)



司会兼コメンテーターの「コメント」(第一～第五発表者に対して)
他者評価シートの集計／発表者は自己評価シート記入



MVPの発表

他者評価シートの書き方

自分および発表者の名前を書いてください！

満点は20点です。

I 態度点(5項目).....良かった 2点
まあまあ 1点
悪かった 0点

II 内容点.....0～10点の範囲で採点。

発表者

アイコンタクトを取りながらプレゼン！
4分間、きちんと話し続けること！

司会 兼 コメンテーター

- ①質疑応答・感想の時、
全員が発言できるよう、
上手く仕切ってください。
- ②発言者に対して、一人あたり30秒
程度の「コメント」になるよう、
メモ用紙に記入。
(メモ用紙は持ち帰り、宿題に活用。)

※他者評価シート、自己評価シート、記入不要。

司会・コメンテーターは、
発表者一人一人に「良かった点」
「改善を要する点」を伝えてください。
(一人に対して30秒を目安に。)

※その後、他者評価シートの
集計作業をして下さい。

自己評価シートを
記入して下さい。

MVP結果発表

本日使用した資料

- ①発表者のA4ボードすべて
- ②自己評価シート
- ③他者評価シート

→以上すべてをクリアファイルに入れ
司会兼コメンテーターがまとめて提出

事後の宿題担当者へ
(司会兼コメンテーター)

メモ用紙に基づいて、
本日のグループワークの総括をA4用紙1枚にまとめること。
個々人への批評ではなく、グループ全体について評価すること。

来週、グループの人数分(+山本提出分)印刷して持参。

来週(5月15日)の授業について

今日と同じ付近に、グループ毎に
まとまって座って下さい。

振り返りののち、学部毎の班に
わかれてグループワークをします。

全員で片付け！

横9列 縦11列